

どうして鉄道資産の無償譲渡求めないのか など、するどい質問がたくさん

文化会館で並行在来線問題市民説明会

7月23日に、県交通政策局による並行在来線の市民説明会が開かれた。出席した平良木議員と橋爪議員の報告を中心に紹介します。

挨拶に立った新潟県杉野交通政策局副局長は「並行在来線は、多くの条件が不確定であり、経営する新会社による調整が必要。予想される多額の赤字には国の支援が必要。支援策にはいろいろあるが、新幹線貸付料に赤字分が含まれているので、その分を地元に戻すことを求めたい」とこれまでの知事の見解を繰り返しました。

経営案の説明を行ったのは松沢企画室長。配付された資料の説明のほか、運営する会社を各県ごとの単独会社にするかどうか、鉄道資産を運営会社が保有するかどうか、列車を電車にするかどうかなどについては詳しく触れました。

その後行われた質疑応答では、「三セク立ち上げは松沢企画室長。配付された資料の説明のほか、運営する会社を各県ごとの単独会社にするかどうか、鉄道資産を運営会社が保有するかどうか、列車を電車にするかどうかなどについては詳しく触れました。

その後の質疑応答では、「三セク立ち上げは松沢企画室長。配付された資料の説明のほか、運営する会社を各県ごとの単独会社にするかどうか、鉄道資産を運営会社が保有するかどうか、列車を電車にするかどうかなどについては詳しく触れました。

行政と一線を画して多角的に検討

第三セクター等特別委員会(上野公悦議員所属) 現場視察スタート

今年度の議会の特別委員会に「第三セクター等調査特別委員会」が設置されたのを受けて、さっそく市内の第三セクターの管内視察が始まりました。上越市にはたくさん第三セクターがありませんが、そのうち、14施設を視察、経営陣と率直な意見交換をし、今後の第三セクターの方向性を探ろうということになったものです。

資する第三セクターの株式会社と有会社15社のうち、6月時点で8社が累積赤字を抱えていることが明らかになっていきます。上越市では、この報告に基づいて、特に競合が著しい温浴施設を中心に統廃合も含めた抜本的な見直しを行う、特に市が100%を出資した持ち株会社方式を採用、また、経営統合も視野に入れた中で、第三セクターを一元的に管理する部門を設置する必要があるとした方向性を打ち出しています。

今年3月に「上越市第三セクター経営検討委員会」で経営分析の報告書を上越市に提出しました。それによると、市が25%以上出



単なる財務内容だけではなく、広く施設ができた背景や現在の地域活性化への役割など検討し、統廃合の是非など議論していくことになっていきます。

今日は、(株)ゆめ企画名立の「うみてらす名立」、リフレ上越山里振興振興(株)の「くわどり湯ったり村」、午後から三和振興(株)の「ネーチャリングホテル米本陣」、そして最後に(株)大潟地域活性化センターの「鵜の浜人魚館」を訪問し、それぞれ経営陣と懇談しました。

赤字部門の黒字化や地域活性化への考え方など突っ込んだ意見交換が行われました。第三セクターならではの様々な苦労、特に地域での民間施設との関係や大株主である市との関係など切実な問題もたくさん出されました。

今後、特別委員会では他の第三セクター、施設などを訪問し、市で打ち出している方向性について総合的な視点から検討を重ねていく予定です。

ご存じですか？ 公共下水道工事 負担金減免制度

「下水道工事をしたのだが、負担金が高い。なんとかならないか」という相談を受けましたので、減免制度について紹介します。

公共下水道工事負担金については、「生活保護世帯と、生活保護に準じる世帯」を対象にした減免制度があります。生活保護世帯は、下水道工事に際して行政から減免についての助言があります。生活保護世帯に準じる世帯は自分から申請する必要があります。家計を調査し該当すれば減免の対象になります。

お心当たりの場合は、市役所か、日本共産党の議員(連絡先は左の表題の通り)にご相談ください。



と越まつり 今年も盛大に 踊る樋口議員

恒例の上越まつりでは、議員も民謡流しに参加し汗を流します。党議員団からは樋口議員が参加し、高田、直江津の両会場でみごとな踊りを披露しました。後方の瀧澤議長も感心しています。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 243 2010年8月1日

連絡先	橋爪	法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口	良子	544-6802	(中門前3)
	上野	公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良	木哲也	525-9096	(上中田)